

グループの持つ力を体感し、
ファシリテーションを学ぶ

夫・交際相手による暴力（DV）を受けた女性の

サポートグループの ファシリテーション研修

講師

吉浜 美恵子 氏

社会福祉学博士 ミシガン大学社会福祉学大学院 教授 ※ 講師の詳細は裏面へ

2026
12/12^土・13^日

10:00～17:00

※原則、2日間通しての参加が
必要です

兵庫区文化センター 講習室

兵庫県神戸市兵庫区羽坂通4-1-1



定員

16名



参加費

¥20,000 (税込)

先着順での受付ではありません。
受講の可否は、できるだけはやくお伝えします。

DVを受けた女性たちは孤立しがちです。グループによる支援では、同じような経験をした女性たちと語り合うなかで、力を得ていきます。「暴力を受けたのは自分だけではない」、「被害を受けた女性が悪いのではない」、「DVを生み出す社会的構造があること」などに気づいていきます。

女性支援新法（困難な問題を抱える女性への支援に関する法律）が2024年4月1日に施行されました。

そこでは、民間団体との協働による支援がうたわれ、支援の最前線にいる民間団体の役割はますます重要となります。なかでも、大切な社会資源となるサポートグループは、より多くの官民の女性支援の場で実施されることが望まれます。

一方、サポートグループにおいて重要な役割を担うファシリテーション技術を学ぶ機会は残念ながらそう多くありません。この研修ではワークショップやロールプレイなどの体験を通し、グループの力を体感し、実践的・体系的に学んでいきます。ぜひ、この機会にご参加ください。

申込方法： 右の二次元コードまたは以下のURLよりお申し込みください
<https://forms.cloud.microsoft/r/tzSPp01YNn>



主催： 認定NPO法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ
お問い合わせ：info@wn-kobe.or.jp / 078-754-9320（事務局）

講師：吉浜美恵子 さん

社会福祉学博士 ミシガン大学社会福祉学大学院 教授

- 日本において、1992年、「夫（恋人）からの暴力」調査研究会を共同設立し、日本で初めてのDV全国調査を実施（調査結果は共著『新版ドメスティック・バイオレンス』有斐閣）。
- 東日本大震災後、被災した女性たちとともにフォトボイスの手法を使ったグループワークを継続実践している。
- アクション・リサーチを通し、調査研究と市民（女性）運動の融合、政策提言や評価、援助プログラムの拡充に向けての調査研究、実践にたずさわる。
- 1996年からミシガン大学でグループワークを含むソーシャルワーク実践を教え、さらに日本国内でもグループワークを教えるなど、米国・日本で活躍している。

ぜひご参加いただきたい方

DVを受けた女性のグループ支援に関わっている方、および官民の相談機関の担当者・管理者、これからグループ支援を行いたいと思っている方。この研修に参加したことのある方、関心のある方（学生も可）など。

参加費

20,000円

※参加費の支払いが難しい方はご相談ください。

日時

2026年12月12日（土）、13日（日）

両日 10時～17時

※原則、2日間通しての参加が必要です。

場所

兵庫区文化センター（兵庫県神戸市兵庫区羽坂通4-1-1）・講習室

JR兵庫駅から北へすぐ、神戸高速鉄道大開駅から南へ徒歩5分、市バス兵庫駅前下車すぐ、神戸市営地下鉄上沢駅から南へ徒歩10分

定員

16名

申し込み方法

右の二次元コードまたは以下のURLより
お申し込みください。

<https://forms.cloud.microsoft/r/tzSPp01YNn>



2026年11月9日（月）

申込締切

先着順での受付ではありません。

受講の可否は、2026年11月25日までに、お申し込みいただいた連絡先へお伝えいたします。

その際に、受講料支払い方法のご案内もいたします。

後援 特定非営利活動法人 全国女性シェルターネット

本研修は、上野千鶴子基金の助成による事業です

